

第52号  
 発行日：平成24年10月20日  
 発行所：  
 東京青山同窓会事務局  
 〒107-0062  
 港区南青山3-18-4-304  
 (有)ジェイ・クラブ内  
 TEL. 03-3423-3591  
 発行者 池 一

# 東京会報

**東京青山同窓会**  
 -東京青山同窓会年間維持費-  
 1口 / 1,000円 2口以上(年間)  
 会計幹事：佐藤 茂 (77回)  
 振込先：三菱東京UFJ銀行・  
 江戸川橋支店  
 普 1170247 東京青山同窓会  
 郵便振込口座 00150-9-4074

## 平成24年東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会 報告

平成24年6月22日(金) 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京 木村和人 90回

記念すべき120回目の新人を東京に迎へ恒例の新人歓迎会・講演会が開催されました。司会者で元フジテレビアナウンサーの松井みどりさん(94回)の紹介を受けた太田裕副会長(71回)のご挨拶により開会、失われた20年間に生まれ育った世代もこれからは上昇あるのみという力強い激励をいただきました。

新潟からの来賓のご挨拶は、まずは青山同窓会・風間士郎副会長(64回)より、世界に羽ばたいて欲しいこと、および偉大な先輩の例として憲法学者の佐藤幸治さん、DeNA創業者の南場智子さんについてお話いただきました。同・山内春夫副会長(76回)からは10月に新潟で開催される120周年記念行事のお知らせ、同・吉田徳治副幹事長からは募金の現状と協力依頼がありました。目標の3500万円まであと40万程度という

ことですので今回ご欠席の方々も含めて皆さんで応援しましょう。そして旧3学年部長・渡邊孝弘先生からは卒業生への激励と東京の先輩方へ新人への支援の願いがありました。

講演は田崎正巳さん(84回)から「経済成長率No.1のモンゴルと新興国の若者気質」です。モンゴル帝国として13世紀には史上最大の国家規模を誇っていた国ですが、今は中露に挟まれ政治的、経済的にも難しい立場にあるものの、資源豊富、経済成長著しく、若者も希望に溢れ、チャンスに恵まれているそうです。エピソードや写真も交え大変分かりやすくお話いただき、今後モンゴルのような新興国との接点が多くなる若者世代へ相手国の歴史や国民を尊重し謙虚になることの重要性も説いていただきました。

第2部の懇親会は司会を佐藤晃君(104回)に交代し、猪口孝会長(70回)の乾杯で始まりました。猪口会長はプレジデント7/16号の人間邂逅に登場されます。出版社のご好意により掲載誌も多数ご提供いただきました。同記事は野崎稚恵さん(94回)の執筆によるものです。

しばらくの歓談の後、島津孝さん(85回)の指揮の元、新人全員が登場し校歌を斉唱、星野紹英さん(84回)のエルで締めました。閉会の辞は大高健君(118回)。若いのに簡潔でしっかりしたスピーチをするものだと感心していたところ英語スピーチ大会で東日本4位という実力の持ち主でした。

私もこれまで仕事上でも多くの同窓生のお世話になってきましたが青山同窓会は各界でご活躍の経験豊富な人脈の宝庫です。新人および若手の皆さんもぜひ続けて参加して盛り上げて下さい。本年11月9日の総会には120名超の参加を目指しましょう。



事務局通信

**住所リスト出力サービス**

当同窓会では、皆さんからの情報を元にデータベースを更新しております。  
**「同期会開催のための住所録」**が必要な方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストをご提供いたします。ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛 FAX. またはメールをお送りください。  
 FAX. 03-3423-1692 mail:kusakabe@moon.email.ne.jp(日下部・82回)

■住所リスト1学年 / 3000円■

**偶数月第二火曜日の会(申込み不要)**

H24//12/11(兼忘年会) H25//2/12・4/9・6/11・10/8  
 毎回定時 19時より◇日本海庄や(赤坂通り店) 港区赤坂 3-13-7  
 Tel:03-3586-5003  
 場所も時間も固定です。ふらりとのお立ち寄りください。

**Web サイト**

◇本部◇ [http://www.geocities.jp/niigata\\_aoyama/](http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/)  
 ◇東京◇ <http://www.tokyo-aoyama.org/>

## 会長挨拶

猪口 孝 70回



今年は新潟高校(とその前身)にとって思い深い年である。母校のこととなれば、雨が降っても、風が吹いてもという方が多いと思う。そうだからこそ、120年経ってもこれだけ沢山の同窓生が集まるのである。ありがたいことである。地域振興の軸となるのはやはり学校

だという気がする。小さな大学の学長をしているせいもある。地域が生き生きとしていなければ、何もはじまらない。振り返ってみれば、戦争敗北にうちひしがれていた長岡藩の小林虎三郎が三根藩からの義援米100俵を食用にするのではなく、金に換えて次代の若者により教育を授けるためとしたのはつい一世紀半前のことである。

明治維新政府の仕組みでは義務教育の財政は県の仕事であった。ところが1918年までに財政を自分で賄うことのできない県が続出してきた。そこで文部省は義務教育も中央政府で賄うことに大きな変更を行った。第二次世界大戦後

米国占領下の政策変更はしばらくして元に戻っている。ところが2012年の消費税引き上げ法案でそのうちに消費税が8パーセントになり、そのうちの1パーセントは地方自治体に行くことになっている。こうなると財務省は地方自治体に対する地方交付金を着実に削減していくことが眼にみえている。全国の80余りの公立大学(地方自治体が設置者)の財政基盤が危機になる。戦前には高等学校(今の高等学校)が地域振興の軸であったのが、21世紀には大学になっている。

新潟県に小林虎三郎はいないのか。新潟高校120周年に際して、地域社会の軸となる大学が大きく崩れる危機の到来を数年後にして、危機感を共有できたらと思う。

## 61期同期会の運命は?

61期C組幹事 風間博

森羅万象。寿命がある。

5年に一度の新潟・東京合同の61期会も、同期生が喜寿を迎えたのを区切りに、平成23年に終焉した。

参加した東京勢の中から、「オレ達の東京61期会はどうするんだ」という声が挙がった。

新潟勢は毎月木曜日の「二木会」、忘年会、新年会と、しょっちゅう集まっている。

東京は年に一度の開催。これが無くなれば35回続いた東京青山61期会も寿命だ。

「オレたちが担当幹事の年に同期会の幕引きなんてゴメンだ」と、C組が意地を

見せて取り敢えず例年通りの開催を決めた。案内状は約100通。

平成24年6月1日。新潟から大橋禎助先生、同期生4名、在京は23名、仙台、秋田からも参加してくれ総勢30名。

会場はKKRホテル東京。皇居が目前に展がり、背後に大手町の高層ビル。しかもメトロ・竹橋に直結の至便さ。

会の進行は、毎年決まりのワンパターンで変わらないのが良い。

物故者への黙祷、先生のご挨拶。乾杯、校歌・応援歌合唱。

同期会のキモは懇親、歓談にある。

蹉跎や思い上がりの少年時代に戻り、それからのいぶし銀の人生を語り、お互いの年の取り方に「おや、まあ、へえ」と感じ合う。これが次の同期会への期待

に繋がる。

会が終わった。次回は有りや?無しや? D組の出席者が、つと前に出て、「オレ、1人だけでも次の会をやる。やらせてくれ」と熱烈発言。満場の拍手。

D組の出席者は2人。どう伝わったのか、「東京の会はもうやらない」という誤解が、少人数の参加だった。

C組からD組への引き継ぎの席で、D組から同期会の運営に新しい提案があった。

要旨は、

- ①出席者の高齢化による減少で、クラス持ち廻りの運営が難しい。
- ②で、各クラスから幹事を出し、その中から「常任幹事団」を選び、会長、副会長も選任し、東京青山61期会を運営する。

③D組幹事の同期会で、次回幹事のE組に会の存続のために提案に同意してもらおう。

④同意が得られなければ、今後、D組は「クラス」としての参加はなく、「自由参加」とする。

という真摯なアピールだった。

東京青山61期会の寿命は盡きるのか。それとも延命か。来年が正念場だ。



# 64回生東京同期会 『今年は75歳』

川崎明・坂井敬

64回生は今年度誕生日で75歳という節目の年を迎える。同窓会でも、ついでこの間までは中堅クラスのような感じていたが、今年春の新人歓迎会で出席者名簿を見たら64回生は年長順の6人目からとなっております。愕然とした次第である。

しかし乍ら我が64回生は元気だ。今年も5月31日(木)午後1時恒例の有楽町駅前ニュートーキョー9階「ラ・ステラ」

に於いて45名が参加して同期会を開催した。

特に今年は昭和31年卒業以来56年ぶりに品田亘君が遠路山口県光市から初参加、皆さんと旧交を暖め合ったのが印象的だった。

恒例の1分間スピーチも工夫した内容、話し方でもない和やかな声に埋もれてしまい勝ち、アツという間の3時間が

経過して余韻さめやらぬ中、閉会となった。

一方で今年も7名の同期生が亡くなった。武田享久、宗村廣一、小田嶋寿一、岩田敬介、堀川信男、佐野公亮、安藤勝利の諸氏。

謹んでご冥福をお祈りした。

いまや残る両親はごくわずか、兄妹・伴侶そして何よりも私達自身に、いつ何が起きてもおかしくない年代に入っていることを痛感するが、「来年もお互い元気でまた会おう」と誓って散会した。



## 在京青山74回生懇親会 “酔都志会”

記・写真：工藤義夫

3年振りで開催した74回生の在京懇親会=酔都志会(5月26日)の近況をお伝えします。

今回は、60代半ばを迎えそろそろ第一線を退く潮時にあたる。新潟からは元気澆刺の宮地正樹先生をお迎えし、女性9名を含む47名の多数が参加しました。卒後初めての顔や、初めて出席しようという矢先に亡くなったご主人に代わって参加された奥様なども加わっての“様々な遠き日々”の回顧と近況などに、一次会と二次会の計6時間が瞬間に過ぎていた。宮地先生は81歳になられたが青年のように壮健で74回生に囲まれても同期と見まごうほどである。先生は我等と同時に高校を卒業され74回生は最後に教えた世代であることからひとしお感慨深いとのこ

と(後年、高校長になられた)。一次会では女性全員と男性数名には中央で話してもらったが、時間制約もあり皆の生の声を聞けなかったのは残念だったものの、二次会も含めてゆっくり時を過ごせたのは幸いだった。都合がつかず参加できなかった方々も含め約180名の声をまとめ事前



にメール配布し、話題の一助ともした。

よいとしかい(酔都志会)のさきがけを創った故・上田久則氏等のおかげで継続してきた本会も、これからは毎年開いてもいいかなと考えています。同期の皆の第2(?)の人生の様子を聞くのも楽しみのひとつ。なかには再婚相手募集の人もいるかもしれない?…など。6年前から幹事を担当しているが、いろんな意味で懐かしい交流の場のひとつとなれば幸いで、これからも会を続けひとりでも多くの新しい顔・懐かしい顔の出会いが実現するよう微力ながらがんばりたいと思います。

また今年は、母校創立120周年の節目の年でもあり、あらためて長い伝統と多くの卒業生に思いを馳せることになります。思えば、在校時には新潟国体と新潟地震の忘れられない出来事があり、青陵祭の思い出などいつしか半世紀近くの“とき”が経つことにあらためて感慨を覚えます。本会の運営に協力いただいたすべての方に感謝しつつ。

## 東京青山75会・暑気払いの会

吉村久雄(5組)

去る7月10日、恒例の暑気払いの会が、東京中目黒の「ニイガタ025」で開催されました。75会は、毎年世話役さんのご尽力のおかげで、暑気払いと忘年会は必ず開催しています。

今回の参加者は24名、世話役でいつも手配をしてくださっている白鳥さんの音頭で、今回も盛大に開催されました。その時のことはほとんどもう忘れてしまいましたが、かすかな記憶を頼りにご報告します。

「ニイガタ025」は目黒川沿いにあり、

郷土料理のお店とは思えないような潇洒なたたずまいでしたが、名前のとおり新潟白根出身の金子さんという方が経営されるお店で、食材の野菜、肉は新潟から取り寄せていて、本当に美味しくいただきました。なんでも藤縄さんの紹介と記憶しています。

お店を借り切った同期会でしたので、いつものがらの旧交を温めながらの、わいわいがやがの数時間で、あっという間に時間が過ぎていました。いつものように、最後は必ず、会計も担当してくれる曾我さんが記念写真を撮ってくれますが、今回も酔いしれた満足そうな顔で皆さん並んで撮ってもらいました。曾我さんは会のあと必ず

写真を送ってくださり、感謝しています。

さて、今回のハブニングは、お店のアルバイトさんでした。小柄の可愛いお嬢さんで、かいがいく仕事をしていたので声をかけたところ、なんと我青山の後輩で、今年卒業して東京に出てきた〇〇〇〇さん。夏休みのアルバイトでやっている、とお名前も何回生かも失念してしまい、申し訳ありませんが、その時はなんだか皆さん盛りあがって、彼女を独り占めして、話し込む方もおられたようです。

こんな出会いがあるからこそ、同期会も、同窓会も大切にしなければと、帰りの道すがらほろ酔いかげんで思ったりした、75回の暑気払いでした。

## 第16回東京青山玲瓏会ゴルフ大会

玲瓏会幹事：村山隆男(68回)

心配した台風18号の本土接近の中、午前中に雨が上がるという気象情報に期待を持ち、第16回玲瓏会ゴルフ大会は決行されました。今回は千葉の総成カントリー倶楽部を会場とし、全員古希を過ぎた精鋭12名が9時6分に南コースからスタートして行きました。肝心の雨は結局一日中降ったり止んだり状態で、重装備は免れましたがコースコンディションにかなりの悪影響を与えました。

終わってみれば体力に勝る68期が1~4位を占める結果となりましたが、ベスグロは63期の市川さんが獲得、又、最長老の60期小林満さんがグロスで上位に来る等先輩諸氏も頑張りを見せました。

終了後のパーティーの席では、参加者の拡大を図る案が討議され、その対策の一つとして、出来るだけ安くて近いゴルフ場を選定しようということになり年末までに候補地を探す事を決め、次回、来春4月23日(火)の再会を期して5時に散会となりました。

優勝：渡邊公夫(68期)、準優勝：村山隆男(68期)、  
参位：渡邊千艦(68期)



## 古さと新しさ

瀧澤有希子(96回)

昨年の暮れに東京で96回卒の同級会が開催されました。

人間、成長していく過程で、ちょっとした人生の節目を感じさせられる時があります。高校に入った時の驚きは、中学校の同級生がバイクに乗り始めたことでした。その後は、車だったり、結婚だったり、マイホームだったり。この同級会では、「開業」でした。会場になったのは、脱サラした同級生の小松俊之君が、3年前に開いたお店。神田は岩本町にある、OnEdrop cafe。(ワンドロップカフェ)は、自動車修理工場を改修したという広々とした空間で、古い空気と新しいものが楽しげにマッチした素敵な場所でした。

集まったのは、24名。同級生といっても一学年450名いるわけですから、当時、話をしたことが一度もない人がほとんど。隣のクラスだった小松君とですら、「あ、初めまして。どうも、どうも」で会話が始まりました。それにしても、同じ高校だった

というだけで、どうしてこうもすんなりと親しくなれるのか。仕事のせいか、新しい出会いが減ってきたこの頃を思うと、嬉しく、ありがたい限りです。

在学当時、人づてに聞いていたのですが、夏の部活の合宿の時に、高校近くの銭湯で「女湯覗

き見事件」がありました。その当事者達にも幸運にも(?)巡り会い、愉快的オチのついたホントのところを聴くこともできました。悪ふざけの許されるきらきらとした時代にひと時、タイムスリップ。始めたばかりの、Facebookに友達リクエストを沢山いただき、思えば、無難に過ごしてしまった高校時代へのほのかに甘い悔恨と、これからの可能性への期待を胸に、終電目指し、古くて新しい友と走った冬の夜でした。

身の周りに増えて来た子ども達や後輩たちの手助けもしつつ、自分たちもまだまだ未来を見ていたいと思います。

(OnEdrop cafe. 東京都千代田区岩本町2-9-11 陽明ビル1F/ 03-5829-6822)  
<http://www.onedrop-cafe.com/>



OnEdrop cafe.  
open 11:30  
close sunday & holiday

# 84回同期会、お題は「ヤモメ、医者、丈夫」

星野紹英

平成24年8月12日／新潟グランドホテル／参加者：大湊先生、高橋満先生、石黒先生、他60名

昭和51年84回卒業の同期会は「84(はちよん)会」と呼んでいる。最近ほぼ2年おきに行われている。卒業後ほとんど開催されずにいたが、確か2000年頃に、宮崎セイヤ氏、行田充氏の音頭取りで開かれてから、以来「下1桁が8と4の年に開こう」というのだが、なぜかそれがほぼ2年おき。「6年後なんて待てない!」「〇〇先生は4年後ではヤバイかも」などといった声に圧されての開催?と聞く。どうやら1度やったら会場も案内送付も会計も、みなパターン化してしまったようで幹事が気楽に?セットしている模様。とはいえ二人を中心とした幹事グループにはそれなりの負担がかかるのだから、

感謝感謝である。その感謝の表意が「毎回出席」と心得ている。

さて、今年の会合では、クラスごとにステージに上がり、各人にマイクを回す。そんな中で拾ったお題は3つ。

### 第一：『ヤモメ』

「この3人は3年間ヤモメを貫徹した3人組で〜す!」(注:『ヤモメ』とは男子のみで女子がいないクラスの俗称)。現在は男女ほぼ同数になっているという最近の卒業世代にとっては、解説が必要なくらいの「死語」になっているものと思われる。我々の頃は女子が2割程度であり、各学年には2〜3クラス男子クラスがあった。思えば「男ヤモメに××が湧く」といった言葉も一般社会でも聞かれなくなり、今や青山同窓会絡みくらいでしか耳にしない懐かしい響きの言葉である。

### 第二：『医者』

「名簿で数えたら同期に医者は、獣医も含めると実に80人!?」。理科系は6クラスだったから1クラス10人以上が医者になっている勘定。彼の言葉を借りると「こんなに医者が多い期は珍しい」。この言葉に象徴されるように、次々と医者の言葉が続く。「私は新潟市内で泌尿器科を開業してしまして、皆様もそろそろ年齢が年齢ですから、そちらの方がご心配の方はどうぞ来院してください」、「私はヤモメクラスだったので、女性がいる職場に憧れていましたが、婦人科では、看護師さん、事務員さん、それに患者さんも、周りは全て女性です!」、等々。

### 第三：『丈夫(ますらお)』

「ビッグスワンで『丈夫』が響き渡りました!」。今年は折から「北信越かがやき総体」が新潟を中心に開かれていた。私も新潟駅に降り立ち、駅前の「歓迎」幕と会場案内用テントが目飛び込んだ。メイン会場のビッグスワンで行われた陸上競

技で、新潟高校の広田有紀さんが女子800m決勝に進出。決勝レースを前にスタンドで『丈夫』の大合唱が響いたという。広田さんはその声援に見事に応えて3位入賞!

最後に幹事から「次回は2014年1月に開催予定」と告知。会場は同じ新潟グランドホテル。今回欠席の諸氏もご参集を!



## 東京青山柔道部OB会活動報告

事務局:成海孝二(81回)

平成24年9月10日、恒例の総会を銀座の居酒屋で開催。参議院議員の佐藤信秋会長(74回)はじめ若手新顔を含め14名(58回〜94回)が参加、盛会となりました。

会長からは、「柔よく剛を制す」を体现された東京五輪(昭和39年)柔道金メダリスト猪熊功(故人)氏とのかかわりから、「強くなやかな国土づくり」に国政の立場から邁進中との言及があり、一同、感服。また、フランス柔道を育成された福田満(58回)副会長からは、柔道人生を振り返り、まず「紳士たれ」の

一言。半世紀前に帰国後、本会を発起された国際派の聲咳に接するまたとない機会となりました。内田定寛(66回)先輩によれば母校柔道部へは新人5名が入部、将来の裾野の広がりが期待され

ます。

最後に、村山健(61回)先輩を副会長に選任し、佐藤会長、福田・村山両副会長体制のもと「ますらお」合唱で閉会となりました。



後列左より：上杉恒彦/92、長田充/91、苫米地令/85、齊木幸彦/64、古山恒夫/72、齋藤俊正/72、吉田真吾/85、細貝邦行/94  
前列左より：成海孝二/81、堀清忠/71、内田定寛/66、佐藤信秋/74、福田満/58、村山健/61

# 平成24年度 総会のご案内

## 日時

平成 24 年 11 月 9 日 (金)  
受付開始：午後 6 時  
開会：午後 6 時 30 分

## 会費

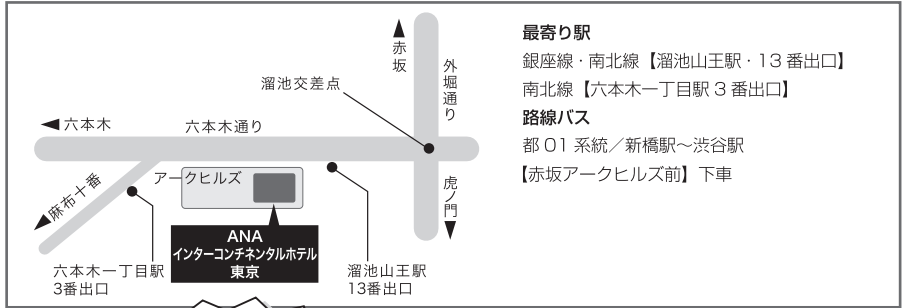
一般：8,000円  
女性：6,000円  
大学生：3,000円

## 会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京  
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

## プログラム

- ◇総会議事◇
- 会務報告・会計報告など
- ◇懇親会◇
- 着席buffet



**64回担当幹事  
アトラクション準備着々!  
お楽しみに!**



予告 次年度の新人歓迎会は平成 25 年 6 月 14 日 (金) の予定です。

### 連絡

## 放送部 OB 会

宮本真理子 (120 回)

はじめまして。第 120 回卒業生の宮本真理子と申します。私は今、新潟高校放送部 OB、OG 会の設立を計画しております。

今年度 NHK コンテストテレビドキュメンタリー部門『笑顔写真家～写真に秘めた思い～』全国第 6 位、昨年度全国高校総合文化祭オーディオピクチャー部門『ローカルール』全国第 4 位と、現役放送部員たちは活躍の場を全国に広げております。

彼らを支援し、新潟高校放送部のより一層の発展を図るとともに、伝統ある新潟高校放送部の OB、OG 相互の親睦を深めたいと存じます。

興味を持っていただいた放送部 OB、OG の皆さん、是非、ご連絡ください。一度、顔合わせを兼ねた会合を開きましよう。その場で、現役放送部員の作品をご覧いただきたいと存じます。

ご連絡お待ちしております。

【連絡先】宮本真理子

早稲田大学文化構想学部文化構想学科 1 年  
携帯電話：090-2496-1607

メールアドレス：(携帯)

miyamo-m.skss.0802@docomo.ne.jp

(PC) miyamo-m.three-a@fuji.waseda.jp

### ■ 計 報 ■ H24年5月～9月の期間に事務局にお知らせいただいた方々です。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 福島隆作 (39回・H22年)      | 三上昌 (56回・H24.1.19)   |
| 浅田鋪一 (41回・H22年)      | 村山保 (58回・H24.4.25)   |
| 斎藤邦輔 (43回・H19年)      | 牧泰彦 (59回・H24.1.14)   |
| 田中宏 (45回・日付不知)       | 五十嵐康男 (60回・H24.3.18) |
| 牧野彊 (46回・H24.9月)     | 山田宏 (60回・H24.3.10)   |
| 米持長三 (47回・H24.1.3)   | 安食恒昭 (62回・H24.4.5)   |
| 花井省次 (51回・H24.2.11)  | 小黒昌一 (62回・H20.11月)   |
| 百川和雄 (51回・H23.10.24) | 安藤勝利 (64回・H24.6月)    |
| 滝沢昭二 (52回・H23.10.19) | 野島秀雄 (64回・H13年以前)    |
| 浅田正樹 (55回・H22年)      |                      |

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 一筆啓上

\*H24年の新人歓迎会・講演会への出欠はがきとメール、H23年度後半の会費振込用紙に添えられた主なメッセージです。

- 41回・浅田鋪一／いつも青山同窓会のお知らせを頂き有難うございます。父は一昨年亡くなりましたので名簿より削除をお願い申し上げます。(浅田聖子)
- 43回・斎藤邦輔／2007年逝去いたしました。長い間お世話になり有難うございました。ご連絡が遅くなり大変申し訳ございません。今後は郵便物は停止をお願い申し上げます。(長女石井淑美)
- 45回・田中宏／田中宏儀、他界いたしました。
- 49回・中村廣徳／次年度分、払い込みいたします。
- 50回・寺田秀夫／辛い健康に恵まれ、細々年々診療(内科)を続けています。
- 50回・時田勇司／盛会を祈ります。
- 51回・大滝映夫／腰が悪く、歩行に杖が頼りの生活ですが、他は特に異常ないようで、一応元気です。
- 51回・百川和雄／昨23年10月24日に亡くなりましたのでお届け致します。新潟の方には昨年の内にお電話しました。お世話になりました有難うございました(内)
- 52回・阿部穆／この度は種々お世話になりました。おかげ様で手続出来まして感謝です。よろしくお計り下さいませ。
- 52回・斎藤泰五郎／ご案内ありがとうございます。変わりなく元気で居ります。ご盛会をお祈り致します。
- 52回・滝沢昭二／父、滝沢昭二宛に同窓会の連絡が届きましたが、父は平成23年10月19日に亡くなりましたのでお知らせします。また、新潟の青山同窓会には、連絡済みです。
- 52回・渡辺達郎／人生の戒むべきは三つある。1. 漫の心

2. 驕の心 3. 傲の心
- 53回・盛山淑郎／思いもよらず小生は、不思議に命長らえて、53回生は、昭和20年敗戦の年に卒業した、懐かしい。ご盛会を祈ります。
- 56回・飯島昌彌／“多分最後の開催となるでしょう”との触れ込みで案内された6月1日開催の新潟イタリア軒での56回同窓会に出席することを楽しみにしています。青春の地、新潟です。
- 56回・幸田廣治／昨年より体調が悪く入院中です。
- 56回・中山昭一／「生涯現役つなしま会」という、老人会ではないが殆ど老人の会でハーモニカのクラブに入っています。第一ハーモニカ、第二ハーモニカ、コードハーモニカ、バスハーモニカのアンサンブルで第一陣を担当しています。家では時折校歌や応援歌なども吹いています。
- 56回・松井昭五／昭和23年(1948)に卒業以来64年を経過しました。早いものです。母校が健在であることは嬉しいことです。青山同窓会のご発展を祈ります。
- 56回・三上昌／H24年1月19日に旅立ちました。長い間ご厚誼ありがとうございました。(三上幸子)
- 56回・皆川正男／後期高齢の域ながら、まだ診療に当たっております。身体の方は何とか保っております。昨年夏、何十年か振りに母校を訪れ校門脇の校歌の碑を撫で、遠い昔のことどもを懐かしく想起しました。
- 58回・大門啓治／盛会を祈ります。
- 58回・宗村泰四郎／今回も欠席いたします。ご盛会をお祈り致します。



59回・園城英二 / 59回・牧泰彦は1月14日に永眠いたしましたのでお知らせいたします。

59回・茂原喜彦 / 遠出の予定があり欠席させていただきます。ご盛会を祈念いたします。

59回・藤原幸雄 / 体のあちこちに異変です。ご盛会を祈念いたします。

60回・五十嵐康男 / H24年3月18日 五十嵐康男永眠致しました。生前のご厚誼に深く感謝申し上げます。(内)

60回・石黒忠士 / 元気が残念ながら欠席します。新人の皆様のご今後の活躍をお祈りします。

60回・高橋満 / 長い間御連絡ありがとうございました。健康上の問題もあり、今後の御連絡は御辞退申し上げます。

60回・山田宏 / 2012年3月10日、亡くなりました。(内)

61回・小林元雄 / 先約があり欠席させていただきます。ご盛会を祈念いたします。

61回・助川孝雄 / いつもご案内ありがとうございます。ご盛会を祈念しております。

61回・長沼雄峰 / 東北地区の青山同窓会の設立が震災のため大分遅れているようです。頑張れ東北! 頑張れ青山!

62回・小黒昌一 / 小黒昌一は2008年11月に逝去しました。ご連絡が遅れましたことお詫言させていただきます。(妻和子)

62回・帆苅宏典 / 62回生は喜寿を迎えております。各位のご健康を祈念いたします。

64回・川崎明 / いつもご苦勞様です。感謝します。「新人歓迎会」には出席します。なお、11月総会の運営については、坂井君と案を練っていますが、一人でも多く、総会に出席させる手立てを考えています。

64回・坂井敬 / 今年も東京青山64回同期会を5月31日(木)有楽町ニューオーキョーで開催します。47名の出席申込みが盛会となります。

64回・佐藤章 / ご案内を頂きありがとうございます。ご盛会をお祈り申し上げます。

64回・清水良男 / すみません。欠席させていただきます。ご盛会をお祈り致します。ご集まれる皆様にくれぐれもお伝え下さい。

64回・田中邦彦 / 寄居中学の同期会・新大理学部同期会などの幹事役で、6月に集中し、歓迎会に出席できず残念!ご免なさい。盛会を願う。

64回・津野慶浩 / 日常の生活には問題はありますが会合での飲食は控えて頂いており、毎度申し訳ありませんが欠席させていただきます。

64回・中川透 / 都合により出席できませんが皆様よろしく。

65回・柴澤大五郎 / 地元老人倶楽部の会長としてボランティア活動で忙しい毎日です。地域での人間関係の大切さを痛感しています。

65回・横山修二 / 今回も欠席させていただきます。一筆啓上欄を必ず拝読しております。

66回・内田定寛 / ご案内頂き、ありがとうございます。昨年10月より内障にて回復せず、足下がしっかりしませんので、失礼いたしました。盛会をお祈り申し上げます。

67回・松井啓 / 残念ながら先約あり。盛会を祈ります。

67回・三堀浩 / 盛会を祈ります。

68回・重野康人 / 新潟高校の出身で「NHKニュースウオッチ9」のキャスターを務める大越健介君が「ニュースキャスター」という本を文春新書として出版しました。直接面識はないのですが、NHKの先輩として青山同窓会の人にも読んでもらえたらと思ってお伝えします。新人歓迎会には出席する予定です。楽しみにしています。

69回・高木敏之 / 来年4月に京都で行われる国際骨髄腫ワークショップ (IMW2013Kyoto) の開催準備で忙しく働いています。

69回・高杉昭二 / 4/30-2011、美智子皇后様とモーツァルトのピアノお祝い共演 (コパケン・オケ) で、感謝しました。又11月には東北3県での支援公演で元気をもらい、65年間ヴァイオリンと遊んでいます。

69回・渡部蔵 / 先約 (新潟で中学の同級会) の為出席できません。残念! ご盛会をお祈りして居ります。

70回・伊藤義博 / 腎不全で毎日食事療法をしております。

70回・土田純一 / 主人(土田純一)は昨年10月介護施設に入所いたしました。同窓会を退会させていただきます。

70回・福島治 / 「デカメロン」の語源辞典第二巻目に向けて毎日を充実して過ごしています。

70回・渡辺允雄 / 幹事ご苦勞様です。特に変わりありません。元気でやっています。

71回・内山博勝 / 会費、遅くなりました。

71回・太田裕 / 前立腺がんの全摘手術をして早や7ヶ月、術後の経過極めて良好。仕事とジム通いでフル回転。皆さんとお酒が飲めることを楽しみにしています。

71回・大場菊代 / 事務の方々の苦勞を推察します。ありがとうございます。お願い①会費の金額がわかりません②自動引き落としを設定してください③グッズを販売してください。

71回・橋沢卓 / 混声合唱の妙を楽しんでいます。

71回・西尾レン / 4/28東京で、5/12新潟での「歌とピアノ」のジョイントコンサートを盛況の内に終えることができました。応援いただきましたありがとうございます。

72回・古俣慎吾 / 長い間、東京でお世話になりました。老母のサポートのため新潟に拠点を移します。

73回・田中正弘 / 本年11月19日(月)~24日(土)、銀座ギヤラ

リー「なつか」にて個展(彫刻)を開催します。

74回・青海潔 / 10月まで苦小牧単身赴任です。

74回・池田正行 / 本年3月、早稲田大学大学院法学研究科修士課程を修了しました。

74回・岩城修平 / いつもありがとうございます。石油と自動車用品の会社、もう少し頑張ってみます。それにしても震災と欧州問題は我々の経済に大きなダメージですね。

74回・工藤義夫 / 6/22ご準備ご苦勞様です。大変遅くなりましたが「出席」し写真担当させていただきます。よろしくお祈りします。

74回・高橋信郎 / まだまだ現役でやっております。仕事の都合により参加できず済みません。

74回・土屋彰義 / ご案内を頂いておりました。6月22日(金)の新人歓迎会ですが同日に北海道で当連合会の理事会があり欠席させていただきます。今年から理事会の欠席が許されるようになりました。すみません。

74回・山崎久孝 / 今年1月から古栗の横濱市西区に戻り横浜港を見下ろすみなとみらいのQueen's Tower1階office 30Fで Malaysia LNG Plant ProjectのQuality Assurance Managementの仕事が始めています。どうやら死ぬまで(?)現役人生で働き続けることになりそうです。

74回・渡辺洋一 / NTT関連会社を退職し横須賀に在住しています。

75回・白鳥十三 / 6月の同窓会出席です。宜しくお願い致します。

75回・三富修 / 週1回の大学講師勤め以外、自適の日々を元気に過ごしています。

76回・田中邦彦 / 6月22日の新人歓迎会は、欠席いたします。よろしくお祈りします。

76回・長北学 / 6月22日の夜、日程の調整が出来ました。新人歓迎会参加します。

79回・川上康夫 / 残念ですが、出席できません。皆様よろしくお伝えください。

80回・関本道章 / 幹事お疲れ様です。楽しみにしています。

81回・山田徹 / 何か手伝えることがあれば協力します。準備ご苦勞様です。

82回・佐藤佳彦 / メールありがとうございます。昨年7月に東京から仙台勤務になりました。以前、ご案内いただきながら参加出来なかったのですが、活発に活動されていると拝察していました。なお、ご存知かもしれませんが、昨年より東北地方の青山同窓会が発足して活動を開始しております。

82回・西山活子 / 元気で働いております。なかなか出席できず申し訳ありません。昨年10月より都内に勤務地が変わりましたが、今回は仕事で参加できません。総会には出席したいと思っております。

82回・福嶋元 / 初めて参加させていただきます。年を重ねるにつれ益々高校時代のことが懐かしく思い出されます。

84回・塚塚雅士 / いつも事務局のお仕事をありがとうございます。同期の田崎氏が講演とのこと楽しみにしています。

84回・杉山良子 / 新人歓迎会に出席しますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

84回・渡辺裕 / お世話になっております。新人歓迎会に89期の藤坂一郎君と共に出席いたします。

85回・河治政俊 / 送付先の変更をお願いします。

85回・宮沢英之 / 欠席させていただきます。

85回・柳下裕 / 残念ですが欠席させていただきます。東京青山同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

87回・長場馨 / いつもご連絡ありがとうございます。

87回・南正人 / 先約あり欠席いたします。勤務先他部署の部長が新潟県立高校卒で、実家が松波町3丁目と最近知り、びっくりしました。県高裏の松林、海浜公園、青陵祭、懐かしいです。会報に小生と同じ87回の高柳正俊氏の出版報告が掲載されていて、読んでみたいと思っています。同クラスだったことなどは記憶していますが、同年代で活躍する方がいると知って励みになります。

88回・小竹聡 / 本年3月末、留学先のアメリカから帰国致しました。新人歓迎会、出席させていただきます。どうぞよろしくお祈り致します。

89回・瀧川久孝 / 新人歓迎会に参加させていただきます。同期の長谷川さんも参加由。よろしくお祈りします。

89回・長谷川雄一 / お世話になっております。新人歓迎会・講演会に参加させていただきます。

90回・穴沢雅明 / お世話になります。標記の件、欠席させていただきます。誠に申し訳ありません。また、昨年11月に転居しましたのでお知らせいたします。よろしくお祈り致します。

90回・木村和人 / 連絡が遅れてまして申し訳ございません。出席いたします。

90回・斎藤結花 / 名古屋から東京に戻ってきました。また宜しくお願い致します。

92回・牧野武彦 / H24.4.1から2年間フィラデルフィア大学に家族と共に研究生として留学しています。実父牧野庄三が代理で会費を支払いました(本人の要請で)

94回・小松朋子 / 昨年の総会に直前に駆け込みで参加にもかかわらずお手続きいただき本当にありがとうございます。またこの度は東京青山同窓会の会報をお送りくださり、ありがとうございます。新人歓迎会、楽しみに参ります。どうぞよろしくお祈りい

たします。

94回・野崎雅也 / 新人歓迎会に参加します。スケジュールがなかなか決まらずギリギリの連絡となってもうしわけありません。また、先日猪口先生に取材ご協力いただいた記事掲載のプレゼントを、本日数十部お持ちします。

95回・拝野子並 / 新人歓迎会・講演会は欠席します。申し訳ありません。住所が変更になりました。よろしくお祈りします。盛会をお祈りします。

104回・佐藤晃 / 新しい仲間を迎えられとても嬉しいです。当日がとても楽しみです。

104回・島原慎司 / 1992年3月卒業です。第100回卒業でしょうか?

105回・柳通こずえ / ご無沙汰しております。新人歓迎会、出席で宜しくお願いいたします。お休みなで、雑用でもなんでもお申し付けください。

109回・高野知佳 / 6/22の新人歓迎会ですが、出席の旨、連絡しておりましたが急な予定が入り、欠席させていただきます。ご迷惑をおかけしますが宜しくお願い致します。

112回・金澤信太郎 / いつもお世話になっております。6月22日の新人歓迎会、参加させていただきますと存じます。宜しくお願い申し上げます。

112回・郷夏史 / お忙いところ失礼します。6月22日同窓会は欠席します。よろしくお祈りします。

113回・岡田樹 / ご連絡ありがとうございます。参加させていただきます。宜しくお願いいたします。

113回・外山裕 / 新潟に転居しました。

113回・武内祐樹 / ご連絡が遅れて申し訳ありません。4月に千葉へ転居いたしました。宜しくお願い致します。

113回・朽木康行 / ご無沙汰しております。新人歓迎会のご案内ありがとうございます。遅くなりましたが、参加させていただきます。よろしくお祈り致します。

113回・樋口真佑子 / 新潟の青山同窓会に出席しておりますので、東京青山同窓会は脱退いたします。これまでありがとうございます。

115回・本井典子 / ご連絡ありがとうございます。大変申し訳ありませんが、今回仕事の都合により欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。

116回・馬場直也 / 4月から社会人としてスタートしました。今回欠席いたしますが皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

116回・鈴木結子 / 住所が変わりましたので、お知らせいたします。登録の変更をお願いします。なお、新人歓迎会・講演会は欠席いたします。

117回・樋口健佑 / 平成24年4月に転居しました。

118回・大高健 / この度は、東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会にぜひ参加をさせていただきます。ご連絡させていただきます。また、同じく118回卒の鈴木啓志もぜひ参加したいとのことなので、一緒によろしくお祈りいたします。メールでの欠席連絡となり、誠に恐縮ですがよろしくお祈りいたします。

120回・相澤千尋 / 新人歓迎会・講演会に出席させていただきます。

120回・五十嵐由香莉 / 都合が合わないで、欠席させていただきます。

120回・大岡純治 / 欠席します。

120回・川谷旺未 / 新人歓迎会に参加させていただきます。皆さんにお会いするのをとても楽しみにしています。

120回・小石亜美 / こんにちは! 新人歓迎会・講演会に参加したく、ご連絡しました。

120回・橋本り / 3月にお出したハガキに新潟の実家の住所を書きましたので、6月の同窓会の連絡をいただいております。つきましては、連絡先の変更と、この度の同窓会の詳細をご連絡していただきたいと思っております。お手数おかけいたしますがよろしくお祈りいたします。

120回・福本雅孝 / この度は新人歓迎会・講演会のお誘いありがとうございます。6時まで授業があり、大学から会場が少し離れているため遅れてしまうと思っております。今後都合が合う。当日を楽しみにしています。よろしくお祈りします。

120回・本間知広 / 授業と重なるため行けません。皆様よろしくお祈りいたします。

120回・本間尚文 / 今回は講義のため参加できません。皆様よろしくお伝えください。

120回・目黒花歩 / 新人歓迎会出席いたします。

120回・横山玄 / 本日は新人歓迎会を開いていただきありがとうございます。私自身は複雑な新人生挨拶など恥ずかしい場面がございましたが年上の先輩方と関わることで、有意義な時間を過ごすことができたと思っております。今後も都合が合いましたら同窓会の方に是非参加させていただきたいと思っております。まだまだ社会経験が乏しいので御指導の方もよろしくお祈りいたします。日に日に暑さが増してきておりますが、御身体に御気を付けてお過ごしください。

120回・渡邊美琴 / 出席いたします。

120回・渡部桂 / はじめまして。メールにて失礼いたします。新人歓迎会・講演会に出席したいメールを送りました。よろしくお祈りいたします。

平成23年度 (H23.10.1~H24.9.30) 年会費納入者一覧

通06回 (1名)	大門啓治	川崎榮一	柄沢茂	松井啓	大野博	五十嵐正	時岡高志	島津孝	前田光俊
関川久子	永井克孝	木田満洲男	川崎明	三堀浩	大野勝	大塚恵子	萩野一廣	杉山良子	牧野武彦
通08回 (1名)	宗村泰四郎	木村政雄	木山清	山田尚男	小川省三	笠井忠	長谷川実	関本昇吾	94回 (2名)
佐藤秋子	望月和明	草間光俊	桑野光雄	68回 (19名)	金巻裕史	川上滋	山田民夫	田崎正巳	小松朋子
43回 (1名)	山谷皓栄	熊谷隆幸	齊木幸彦	安達賢司	神林賢治	北村順作	78回 (13名)	田中昌夫	野崎雅恵
早船春洋	59回 (30名)	小池英彦	坂井俊一	安達雅巳	黒木トシ子	木戸守	須田雅巳	田村邦夫	96回 (1名)
46回 (2名)	阿部進	小林孝司	坂井敬	伊藤嘉朗	小嶋修一	小泉慈行	太田秀樹	野口俊介	浜田恒平
下勇	石山芳昌	小林元雄	坂本昌弘	上村嶺子	小林正昭	小出公平	斎藤庫之丞	嶋昌樹	99回 (1名)
富所強哉	板井裕	小山達人	佐藤章	草野佐	近藤正	後藤輝雄	志藤洋子	星野郁夫	君和田俊裕
47回 (2名)	牛木素吉郎	斉藤伸昭	清水裕子	後藤林八	齊藤俊正	斉藤隆夫	篠田敏朗	星野紹英	100回 (1名)
上杉吉二郎	遠藤欽蔵	佐藤敏夫	清水良男	小日向信光	篠原一博	鈴木克博	須田幸子	丸山祐一郎	佐藤直仁
杉山弘治	岡田久	杉山由人	菅野勝	佐藤敏	島村礼子	鈴木正夫	瀧澤道夫	渡辺裕	102回 (1名)
48回 (2名)	奥村繁樹	助川孝雄	須田嶺治	重野康人	菅又滋	曾我正男	肥田博子	85回 (12名)	池田哲郎
石本三郎	園城英二	巢山誠之	高橋正幸	高頭勇	高橋祐介	高木久夫	前田長生	雨木若慶	103回 (1名)
本間公也	笠井毅	竹尾昇	高見浩	滝沢猛	太刀川圭一	白鳥十三	松田元男	荒井裕子	鷲尾英一郎
49回 (4名)	金巻久	田中宣	田才邦彦	竹石肇	戸田満弘	高橋久夫	村田光男	吉澤哲彦	104回 (4名)
中村廣徳	清野孝一	田中忠夫	田辺元彦	長沼誠二	富田由李	玉木廣	吉澤哲彦	渡辺茂	河治政俊
仁保武人	栗林貞一	田村文男	田伏正樹	浜田庄司	中地光子	野崎茂	渡辺茂	79回 (7名)	塩田拓哉
濱博世	小池和男	鶴巻正義	田巻亮	村山弘	西村正徳	橋爪博美	伊藤毅	杉林亨	杉林亨
廣川弘	河野誠	時岡泰	田村康一	渡邊公夫	野村耕治郎	服部昭	伊藤毅	早福博史	島原慎司
50回 (6名)	茂泉喜彦	長沼雄峰	津野慶浩	渡辺千艦	原絢子	萬歳信行	小田章治	田中清	105回 (1名)
上村光司	渋木幸三	中村正春	寺島敬隆	渡辺泰彦	古山恒夫	深沢義和	河正子	田中研一	柳通こずえ
菊部一郎	高橋晴夫	長谷部良雄	中川純子	渡部治子	73回 (9名)	藤井建一	川上康夫	田村誠	106回 (1名)
瀬谷誠	高橋正利	藤田太郎	中山徳彦	69回 (10名)	飯村修	藤利勝	星名健二	森大輔	星野善宣
寺田秀夫	高山昇二郎	丸山通夫	西野貢司	青木利祐	井上敏子	本田晴久	丸山直昌	山田尚美	107回 (3名)
時田勇司	長島一郎	村岡公夫	庭山暢彦	小黒朋弘	鈴木厚人	丸山義博	吉田英幸	86回 (8名)	小橋川嘉樹
村山一	長橋敏雄	村山健	早川周作	佐藤孝靖	田辺研吉	三富修	80回 (9名)	斎藤健	鈴木博之
51回 (5名)	納谷喜郎	谷田部信	藤沢靖郎	清水一男	南波祐二	八木健	青木隆次	佐野晴美	富山聡仁
市村堯	花井進	山田充	藤田昇三	高木敏之	宮崎由美	山崎信行	長正子	南野伸之	110回 (1名)
大滝映夫	藤原幸雄	吉川芳生	星満	高杉昭二	山田美成	山田宏明	櫛英彦	兼兼浩明	高橋憲正
梶井功	皆川潔	62回 (25名)	堀健次	樋口正臣	八幡修	山根英郎	小亮亮介	林光洋	111回 (1名)
北村茂	山田陽一	池田昌之	榎湯晴夫	村上則彦	兩川弘道	渡部一俊	関本道章	広田淳子	酒井克直
千葉繁太	吉田陽吾	石黒恒	吉川要輔	矢川一義	74回 (39名)	76回 (35名)	高橋直人	宮腰重三郎	112回 (2名)
52回 (6名)	若木滋	石田寛	65回 (17名)	渡部巖	藍沢幹人	青山耕一	滝沢正規	吉井正行	金澤信太郎
浅田稔	渡邊敏男	植松敬	浅田和之	70回 (19名)	青海潔	安達修	長沼正昭	87回 (4名)	吉田丈夫
阿部穆	渡辺満	内山隆之	阿部喜久子	池田好正	安藤京子	阿部令一	本間英二	清水忠明	113回 (5名)
児島壽一	60回 (30名)	加藤隆策	安藤宜清	猪口孝	池一	岩原俊介	81回 (10名)	長場馨	関佑樹
斎藤茂美	阿部和彦	角家孝之	五十嵐徹	魚谷茜	池田正行	小田高久	荒川洋	南正人	高野祐一
斎藤泰五郎	安藤正人	黒川徹男	川合英次	岡田利邦	石井拓男	尾張明美	五十嵐和幸	渡辺政城	武内佑樹
廣川勲	五十嵐康男	小池健治	小林英輔	金子正史	石山范	海部和史	江口稔一	88回 (3名)	初木康行
53回 (2名)	池浦厚司	近藤哲朗	小林亘	川田昌人	和泉潤	加澤正樹	大島長子	今井信一郎	外山裕也
広野究	石黒忠士	佐藤勝彦	柴澤大五郎	菅原一雄	伊藤宏	賀谷彰夫	越野昌芳	小竹聡	115回 (2名)
盛山淑郎	金山常吉	佐藤武司	中谷一泰	中谷一泰	岩城修平	久住治	笹川典男	諸橋博樹	郷愼久朗
55回 (3名)	河田鐵雄	鈴木勉	半澤貢	関根俊明	江口則男	蔵持典与	玉木勝一	89回 (10名)	本井典子
千葉繁治	小池健治	曾我健	本間武彦	武石正中	大石憲一	後藤徳広	成海孝二	倉田裕一	116回 (3名)
中村正義	小出直	高橋健一	丸山一敏	田辺豊	大滝均	小宮山信男	山田徹	紺野由紀子	馬場直也
星健	小林賢一	藤井則忠	村木利夫	中村重樹	岡村康生	近藤修二	鵜瀨博	佐藤秀俊	本間友香理
56回 (21名)	小林吾郎	藤原孝子	山田寛	野川晃一	小木恵介	近藤壽邦	82回 (10名)	瀧川久孝	元井快
赤坂長弥	小林満	帆苺宏典	山本和親	花輪治	糟谷好邦	指田久美子	柴森秀一	中野まさみ	117回 (6名)
朝比奈和三	近藤純夫	三浦愛三	湯浅武久	福島治	加藤直久	曾田修吉	金子裕一	西巻政信	榎本飛鳥
綱干道雄	坂口英一	皆川重	横山修二	山宮士郎	工藤義夫	田澤康樹	清田甚	長谷川雄一	大竹里実
飯島昌彌	佐藤孝	嶺國和	66回 (9名)	吉川正孝	解良和郎	田中邦直	日下部朋子	本間裕彦	樋口健佑
井上菊雄	清水徹作	村木隆	石山芳春	渡辺允雄	坂井靖	太原まゆみ	小亦齐	坂井信彦	樋口亨
加藤勝則	杉野剛博	本井孝至	内田定寛	渡部美那実	佐藤俊栄	田村俊作	齐藤滋	脇坂一郎	宮崎真緒
木村直平	高城英雄	渡辺千里	川原英夫	71回 (15名)	佐藤信秋	長北学	白倉真澄	90回 (13名)	宗村泰孝
小島直孝	高橋満	渡辺貢英	小出秀二	五十嵐勤	島津満里子	中谷文夫	西山活子	池田美弥子	118回 (3名)
小松重男	徳田浩一	63回 (10名)	中野武彦	内山博勝	関川修一	西沢芳樹	宮嶋元	伊藤寿	会田俊貴
近藤源也	中田亨	浅野康一	二宮靖彦	遠藤正男	高橋保	浜田正継	富村伸一	歌代真人	大高健
塩見戎三	野村保夫	五十嵐信一郎	丹羽真彦	太田裕	高橋信郎	林誠	83回 (8名)	勝山達志	田崎智之
高見久義	長谷川秀三	五十嵐房子	半澤弥栄子	大場菊代	竹之内明	平野茂樹	相沢秀幸	木村和人	119回 (5名)
永井喜八郎	早武正博	梶原哲郎	村上紀光	橋沢卓	田村栄作	古川恒一	浅間芳朗	小林到	今井周作
中島颯	廣瀬欽次郎	金川博	67回 (15名)	小飯塚豊	土屋彰義	細谷洋一	遠藤光郎	小林美奈子	小奈明世
中山昭一	藤本剛	中村道衛	石井幹男	齊藤誠	堤葵	松野真次	佐藤扶	斎藤結花	桑野駿
庭山六郎	松尾克己	馬場政説	岡崎功	高橋敏生	中村義一	湯本雅恵	三沢健	坂井謙一	小松美国
藤田和夫	丸山敏視	彦坂道彦	小野勝義	西尾レン	西田百合子	渡辺博史	鈴木時男	高橋美和	渡邊由貴
松井昭五	宮田庄之助	村山弘義	片山忠一	野崎善治	西脇雄一	渡辺博史	高山佳郎	田辺文	120回 (3名)
三崎正一	山田誠	山田恵一	北村敏一	福井明子	橋本昭一郎	渡辺拡	山口虎彦	中村泰	内山圭
皆川正男	61回 (36名)	64回 (39名)	斉藤久美子	堀清忠	波多腰明	渡辺雅夫	84回 (18名)	森豊	遠藤希美
山城教成	朝日明	青野啓	佐々木邦夫	松田裕子	本間和彦	77回 (9名)	飯塚雅士	91回 (1名)	佐伯まどか
58回 (9名)	安宅久憲	植村頼音	清水雄伍	宮村達男	山崎久孝	石川彰	石塚里栄子	磯部剛	
浅田秀雄	安藤友憲	遠藤治一	菅又信	72回 (25名)	若林源基	片山等	太田淑子	92回 (5名)	
植村未哉	伊藤英子	大石正男	寺井宏	阿部史郎	渡辺洋一	北村一雄	岡田憲明	石井雅也	
笠原忠克	大橋恒夫	大倉孝男	西章	石田庄	75回 (33名)	板井宗一	緒方俊雄	小倉広	
片桐欣哉	金子章	太田健治	前田康久	宇田川由美	有蘭順子	佐藤茂	唐澤亜弥子	田沼智子	

以上667名